

地区計画 志比内地区

(1) 志比内地区の概要

地区のあらまし

志比内地区は、町域の東端に位置し、豊かな自然に包まれています。

明治42年から入植がはじまり、翌年には、現在の志比内小学校のルーツとなる私立志比内特別教育所が開設されています。

開拓以来、道路、交通機関の整備が課題となってきましたが、志比内橋の整備や八千代に向かう道路の整備が進められてきました。

また、平成19年には志比内地区の東端に日本最大級の複合式ダムである忠別ダムが完成しています。

人口は減少傾向にあります。地域コミュニティの結びつきが強い地域であり、平成5年から志比内小学校において山村留学がはじまり、内外との交流が展開されている地区です。

主な公共・公益的施設

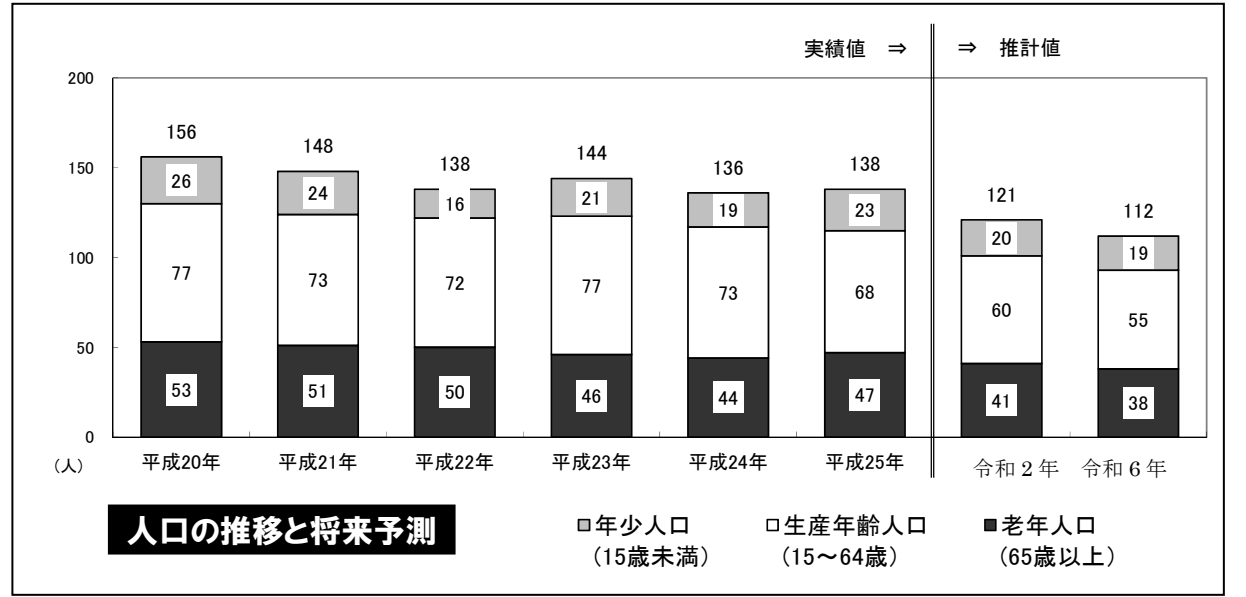
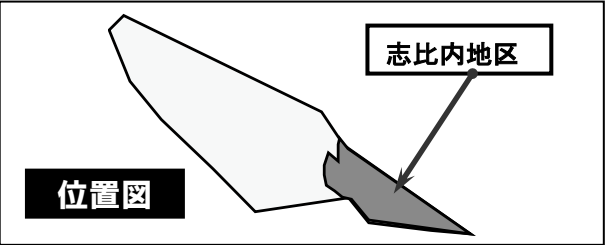
- ◇ 公民館
 - ・ 志比内地区公民館
- ◇ 教育・文化・スポーツ施設
 - ・ 志比内小学校

道路・公共交通

- ◇ 主な道路
 - ・ 道道天人峡美瑛線
 - ・ 道道旭川旭岳温泉線
- ◇ 町営バス
 - ・ 忠栄・志比内線

河川

- ・ 忠別川
- ・ 志比内川



(2) 志比内地区の魅力

志比内地区の代表的な魅力は以下のとおりです。

1. 豊かな自然

水と緑に包まれ四季を通じて自然の豊かさを実感できる地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

おいしい水がただで飲める／自然が豊か／山に近い（歩くスキーができる）／日本の四季を感じられる／空気が澄んでいる／景観・景色がよい／静かである／サイクリングにもってこいの環境がある／桜並木がきれい、大きくしていきたい／コスモスがきれい／お寺と公民館の紅葉がきれい／菜の花畑／山菜がある／野生動物や昆虫が多く、虫取り遊びができる／星がきれい／夏は涼しい／川で魚釣りができる／自然とふれあえる観光資源がある 等

2. 地域の内外に開かれた志比内小学校

山村留学の受け入れ、地域との連携など地域の内外に開かれた学校があります。

みんなで見つけた地区の魅力

子どもへの目が行き届く学校／山村留学の受け入れにより、小学校を地域が存続させている／志比内ならではの教育がある（自然・人）／学校が楽しいという子どもがたくさんいる／子育て支援センターが小学校に支援に来てくれる／小学校が地域に開かれている／保護者が協力的である／国際色豊か／特認校 等

3. 特色ある農業

生産者の顔が見える美味しい農産物の産地であるとともに「なたね」など新しい取り組みが始まっている地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

新規参入の余地がある（農業）／なたね油は今後の地域おこしになると思う／農業に恵まれているイメージがある／菜の花、なたね油／なたね畑がきれい／直売所／農産物美味／サクランボ、クリが食べられる／お米がおいしい 等

4. 結びつきの強い地域のコミュニティ

地域の団結力があり、近所の顔が見える、近所同士で助け合える地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

地域の伝統行事が続いている／地域性がある／住んでいる人の顔が見える／地域の一体感がある／地域行事への意欲的な参加／近所同士助け合える／間口が広く、新しい人も住みやすい／国際色豊か／放課後も子どもたちが思いっきり遊べる 等

(3) 志比内地区の課題

志比内地区の主な課題は以下のとおりです。

1. 人口減少への対応

人口減少に対応した、雇用の場や後継者、住まいの確保、行政区の見直しなどが課題となっています

みんなで話した地区の課題

(定住者の) 20・30代が少ない／若い人が少ない／高齢化で世代交代が少ない／人口減少／高齢化／子どもが少ない／住居が少ない／空き家対策／移住者の住む場所がない／雇用の場がない／後継者が少ない／新規参入が少ない／公民館と方面の関係など行政区の見直しが必要 等

2. 生活利便性の向上

車のない方の移動手段の確保をはじめ、身近な地域での買い物や医療、通信環境など生活の利便性向上が課題となっています。

みんなで話した地区の課題

買い物が不便(スーパーがない)／スタンドがない／ATMがない／お金をあつかう所がない／ネット環境が不便／携帯がつながりにくい／お酒を飲むところがない(徒歩で)／介護施設がない／遊び場がない／スクールバスの便が少ない、乗り継ぎなど工夫が必要／高校生以上になると通学が大変／役場が遠い／病院が遠い／病院に行くバスを集約、有効に使う／車がないと生活できない／スクールバスを無料化して欲しい(小学生通年)／交通が不便(高齢者等車がない者)／スクールバス乗り場が3区4区から遠い／路線バスの利便性 等

3. 施設の老朽化への対応、地域の集いの場の確保

施設の老朽化への対応や気軽に集える場の確保が課題となっています。

みんなで話した地区の課題

情報交換の場・気軽な集いの場(旧農協スタンドのような)があれば／カフェがあるとよい／道の駅がない／集いの場が欲しい／公民館、学校が老朽化／体験型宿泊所がほしい／旧農協店舗の再利用／温泉が出る環境だが活用されていない 等

4. 不法投棄対策

地区の各所で不法投棄がみられます。

みんなで話した地区の課題

朗根内への峠にゴミ・カンの不法投棄がある 等

志比内地区の主な課題

1. 人口減少への対応
2. 生活利便性の向上
3. 施設の老朽化への対応、地域の集いの場の確保
4. 不法投棄対策

志比内地区全図

志比内地区の主な魅力

1. 豊かな自然
2. 地域の内外に開かれた志比内小学校
3. 特色ある農業
4. 結びつきの強い地域のコミュニティ

志比内小学校での山村留学

不法投棄がみられます

なたね畑の景観が観光客を集めています



凡 例	
建物 ポイントなど	ゾーン 大規模開発などの など
人工的なもの 開発・建設	ゾーン ある範囲など 開発中など
自然・緑地帯 緑地帯など	ゾーン ある範囲など 開発中など
歴史的なもの	ゾーン ある範囲など 開発中など
水路 河川・水路など	ゾーン ある範囲など 開発中など
道路	ゾーン ある範囲など 開発中など
その他の要素	ゾーン ある範囲など 開発中など
カードと連携を 行う仕組み	ゾーン ある範囲など 開発中など

(4) 志比内地区の目標

志比内地区の目標と目標実現に向けた取り組みは以下のとおりです。**【重点】**とある項目は重点的・優先的に取り組む項目です。

■目標1 豊かな自然を活かした活力ある地区をつくる

目標実現のための取り組み		
取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1) 「菜の花」の活用	① 菜の花畑をはじめ志比内らしい景観の創造やイメージアップを進めます。	協働
	② なたね油を販売します。	協働
(1) 農業の振興 【重点】	① 新規参入者の確保を図ります。 を確保するため助成制度の充実を図ります。	協働
(2) 情報発信の強化 【重点】	① 「菜の花」、 安全でおいしい農産物、豊かな自然、志比内川といった地域の観光資源の情報発信を強化します。	協働
(3) 志比内川を地域のいきいきの場として活かす	① 志比内川の環境整備を図ります	協働

■目標2 生活しやすい地区をつくる

目標実現のための取り組み		
取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1) 交通の利便性向上	① 町営バスの利便性向上に取り組めます。	行政
	② 乗合サービスのシステムづくりに取り組めます。	協働
(2) 住宅の確保 【重点】	① 空き家の活用など移住者への住宅の確保を図ります。	協働
	② 山村留学でも使える（公営）住宅の整備を図ります。	行政
(3) 不法投棄対策の推進	① 定期的なパトロールを実施します。	行政
	② 看板設置などの不法投棄やごみを捨てづらい環境づくりに努めます。	協働

■目標3 さくらプラザの活用

目標実現のための取り組み		
取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1) 集いの場の活用 【重点】	①さくらプラザの活用方法を検討します。 ①さくらプラザを地域住民が安心して利活用できる防犯対策、維持管理方法を検討します。	住民

■目標4 学校との連携で内外に開かれた地区をつくる

目標実現のための取り組み		
取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1) 山村留学の実施 【重点】	①山村留学を継続し、志比内小学校の維持を図ります。	協働
(2) 学校との連携の強化	①世代間交流の行事を継続します。	協働

■目標5 組織の見直し

目標実現のための取り組み		
取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1) 組織の見直し	①行政区と公民館が一体的に活動できる仕組みを構築します。	住民

資料

(1) 策定経緯

平成 25 年	
12 月 11 日	<p>■第 1 回地区別まちづくり会議 時間：18:30～20:50 場所：志比内地区公民館 参加者：19 名（職員 9 名、委員 10 名）</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none">・情報地図の作成・地区の魅力と課題の検討
平成 26 年	
1 月 23 日	<p>■第 2 回地区別まちづくり会議 時間：18:30～21:15 場所：志比内地区公民館 参加者：23 名（職員 9 名、委員 14 名）※委員 2 名増</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none">・魅力と課題の整理
2 月 12 日	<p>■第 3 回地区別まちづくり会議 時間：18:30～21:20 場所：志比内地区公民館 参加者：17 名（職員 9 名、委員 8 名）</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none">・目標、取り組み内容の検討
3 月 11 日	<p>■第 4 回地区別まちづくり会議 時間：18:30～21:20 場所：志比内地区公民館 参加者：21 名（職員 9 名、委員 12 名）</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none">・目標、取り組み内容の検討・役割分担の検討・地区計画全体の報告

(2) 更新経緯

平成 30 年	
2 月 6 日	<p>■第 1 回地区別まちづくり会議 時間：18：30～21：00 場所：さくらプラザ 参加者：18 名（職員 10 名、委員 8 名）</p> <p>■内容 ・現状の課題確認、進捗状況の確認、目標・取組内容・役割分担の検討</p>
3 月 2 日	<p>■第 2 回地区別まちづくり会議 時間：18：30～20：30 場所：さくらプラザ 参加者：18 名（職員 9 名、委員 9 名）</p> <p>■内容 ・進捗状況の確認、目標・取組内容・役割分担の検討 ・地区計画全体の報告</p>
令和 3 年	
12 月 22 日	<p>■第 1 回地区別まちづくり会議 時間：18：30～20：40 場所：さくらプラザ 参加者：16 名（職員 9 名、委員 7 名）</p> <p>■内容 ・現状の課題確認、進捗状況の確認、目標・取組内容の検討</p>
令和 4 年	
1 月 25 日	<p>■第 2 回地区別まちづくり会議 時間：18：30～19：30 場所：さくらプラザ 参加者：11 名（職員 5 名、委員 6 名）</p> <p>■内容 ・進捗状況の確認、目標・取組内容・役割分担の検討 ・地区計画全体の報告</p>

(3) 地区別まちづくりに向けた意見・提言

よりよい地区づくりを進めるため、地区別まちづくり計画で定めた目標の実現に向け、目標ごとの取り組み方針に基づき、今後、具体的な取り組みを検討・実行していく必要があります。

こうした目標や取り組み方針、取り組みのあり方を定めるための検討を進める中で、具体的な取り組みを実行する上で重要な意見・提言が出されています。そうした意見・提言をまとめると以下のとおりとなります。

○計画策定時

1. 取り組み方針・取り組み内容に関する意見・提言

■目標2 生活しやすい地区をつくる

(1) 交通の利便性向上

→様々な人の視点で利便性を考える。バスの便数を増やす。東神楽南1の東1(旧12号バス停留所)発の最終便を遅くする。東神楽南1の東1(旧12号バス停留所)に暖房を。バスのUターン場をつくる。志比内3区のバス停を増やす。小さめのバスを運行する。

2. 取り組みのあり方・協働に向けた意見・提言

■目標1 豊かな自然を活かした活力ある地区をつくる

(1) 「菜の花」の活用

①菜の花畑をはじめ志比内らしい景観の創造やイメージアップを進めます。

→住民は菜の花畑の管理、育成を行い、行政は補助金、給食での活用、PRなどの実際に育成している人の支援を行う。

②なたね油を販売します。

→住民はラベル等の作成を行い、行政は直売所の建設を。農協の協力も必要。

(2) 農業の振興

①直売所の充実や特産品の開発を進めます。

→住民みんなアイデアを出し合う。

②新規参入者の確保を図ります。

→住民は新規参入者への指導や受け入れを行い、行政は補助金等の制度、補助金、受け入れPRを行う。

(3) 情報発信の強化

①「菜の花」、安全でおいしい農産物、豊かな自然、志比内川といった地域の観光資源の情報発信を強化します。

→住民は情報提供や存置委員会のHPを活用した情報発信を行い、行政も町HPでの情報発信を行うなど、双方での情報発信を行う。

②自然を保護するルールを情報発信する。

→住民は行政への情報提供、看板作製、存置委員会HPの活用を行い、行政は町HPによるPR、補助金等を支援する。

(4) 志比内川を地域のいきい場として活かす

①子どもが安全に遊べる志比内川をつくります。

→行政は河川の原状復帰等の取り組みを行い、住民は維持管理、草刈りボランティアを行う。また、施工箇所の選定など行政と住民が相談しながら行う。

2. 取り組みのあり方・協働に向けた意見・提言

■目標2 生活しやすい地区をつくる

(1) 交通の利便性向上

②乗合サービスのシステムづくりに取り組みます。

→住民は希望や要望をとりまとめて情報提供し、行政はシステムづくり、住民が運転手の確保を行う。

(2) 住宅の確保

①空き家の活用など移住者への住宅の確保を図ります。

→住民は空き家情報の提供依頼、空き家情報の提供などを行い、行政は保障、費用、情報、空き家の活用に対する助成、空き家所有者との交渉などを行う。

(3) 不法投棄対策の推進

①定期的なパトロールや看板設置など不法投棄防止を進めます。

→住民と行政は協力してパトロールを実施するとともに、住民は看板設置の土地（場所）の提供や不法投棄の情報提供を行う。

■目標3 みんなが集える場所をつくる

(1) 集いの場の確保

①地域の人が気軽に集い・憩える場所の確保を図ります。

→行政は管理人の確保や維持管理の支援。

■目標4 学校との連携で内外に開かれた地区をつくる

(1) 山村留学の実施

①山村留学を継続し、志比内小学校の維持を図ります。

→住民による存置委員会の活動、里親協力、学校行事への参加を行い、行政はHPでのPR、助成金、学校管理、対外的なアピールの強化に取り組む。

(2) 学校との連携の強化

①世代間交流の行事を継続する。

→住民がメインの行事について費用や人をサポート。

■目標5 行政区の見直し

(1) 行政区の見直し

①地域の人口構成等を考慮して、行政区のあり方を検討します。

→住民は行政区の再編を検討し、行政は中立の立場で協議の場においてもらう。

目標1 (4) 志比内川に桜並木 土砂で埋設した志比内川のせせらぎ広場の再生
第4会議 参考資料を追加記載。

1. 取り組み方針・取り組み内容に関する意見・提言

■目標3 さくらプラザの活用

(1) 集いの場の活用

→前回計画では、「集いの場の確保」であったが、平成30年1月にさくらプラザが完成したため、今後はその場をいかにして活用していくかという方針に転換した。

■目標5 組織の見直し

(1) 組織の見直し

→前回計画では、「行政区の見直し」であったが、前回会議以降、地域と行政が連携して会議を重ね、これまで4つあった行政区を1つに統合することができ、目標を達成した。今後は地区公民館と行政区の役割分担を見直し、それぞれの活動をまとめて一体的に活動できる仕組みを構築する。

2. 取り組みのあり方・協働に向けた意見・提言

■目標1 豊かな自然を活かした活力ある地区をつくる

(2) 農業の振興

①直売所の充実や特産品の開発に努めます【削除】

→小規模で作物をつくっている人はいるが、地区として直売所を運営するとなると、人手も心配。特産品開発は現状、JAが取り組みを始めている。地区としての取り組みとしてはもう必要ないとの意見多数で、項目を削除することとした。

(3) 情報発信の強化

②自然を保護するルールを情報発信します【削除】

→表現が抽象的だが、ゴミのポイ捨て注意喚起や志比内川で放流しているヤマメを保護するための対策を発信する意図があった。釣り禁止は難しいので、項目としては、ポイ捨ては不法投棄に含めて、目標2で新たに項目を立てることにし、ここでは削除した。
なたね畑を見に来る観光客のマナーは次第に良くなっているとのこと。

(4) 志比内川を地域のいきいきの場として活かす

①子どもが安全に遊べる志比内川をつくります【修正前】

⇒志比内川の環境整備を図ります【修正後】

→草木が鬱蒼としている志比内川周辺の草刈りなどを行政と地域でやっていきたい意図。
町が道に対して草刈回数の増を要望してほしいという地域からの要望あり。
住民が高齢化し、住民での草刈りが難しくなっている。

■目標2 生活しやすい地区をつくる

(3) 不法投棄対策の推進

①定期的なパトロールを実施します【修正後】※一部削除

②看板設置などの不法投棄対策やゴミを捨てづらい環境づくりに努めます【修正後】

→不法投棄禁止などの看板を過剰に設置すると、返って不法投棄が増えると思われるため看板は最小限とし、地区を常にきれいに保つことで、不法投棄をしづらい環境をつくる。

2. 取り組みのあり方・協働に向けた意見・提言

■目標3 さくらプラザの活用

(1) 集いの場所の活用

① 地域の人が気軽に集い・憩える場所の確保を図ります。【削除】

② 直売所とカフェの設置をすすめます【削除】

⇒①さくらプラザの活用方法を検討します【新設】

→さくらプラザが完成したことにより、集いの場所確保はできた。現在は地域の人たちでいかに、この場所を活用していくかが大きな課題となる。直売所やカフェなどの運営は地域の人が活用する方向を見出してから、考えていくことにする。

(2) 既存施設の老朽化への対応

①地域の拠点施設である公民館の老朽化への対応や体験宿泊施設の機能の整備を図ります【削除】

さくらプラザが完成したため、取り組みから削除となる。さくらプラザは宿泊も可能で、山村留学の体験にきた家族も受け入れ可能。

■目標4 学校との連携で内外に開かれた地区をつくる

(1)、(2) とともに継続していく。

■目標5 組織の見直し

(1) 組織の見直し

①行政区と公民館が一体的に活動できる仕組みを構築します【新設】

→行政区の見直しという大きな課題が解決し、行政区を統合することができた。

次は人口減少や地区の高齢化に対応し、組織をスリム化していく方向を模索する。

※他にもたくさんの貴重なご意見をいただきましたが、一部割愛させていただきます。

1. 取り組み方針・取り組み内容に関する意見・提言

■目標1 豊かな自然を活かした活力ある地区をつくる

(1)「菜の花」の活用

→「菜の花」については、原因不明の虫の発生により、令和元年度に作付けを中止したが、ビュースポットとしても評判が良かったため、原因がはっきりわかればもう一度やりたい。
作付けがなくなったことから、なたね油の販売もなくなったため目標から削除していいのでは。
と2通りの意見が提言された。

■目標5 組織の見直し

(1) 組織の見直し

→前回計画では、地区公民館と行政区の役割分担を見直し、それぞれの活動をまとめて一体的に活動できる仕組みを構築することとしたが、その後目標達成された。

2. 取り組みのあり方・協働に向けた意見・提言

■目標1 豊かな自然を活かした活力ある地区をつくる

(1)「菜の花」の活用

①菜の花畑をはじめ志比内らしい景観の創造やイメージアップを進めます。【削除】

②なたね油を販売します。

→「菜の花」に特化した目標であり、景観創造および特産品の意味合いで作付けをしていたわけではなく、今後「菜の花」を作付けする予定はないことから、削除することとした。

(2) 農業の振興

①新規参入者を確保するため助成制度の充実を図ります。【修正後】

→他市町村と比較しても新規参入者確保を図るための助成制度が確立されていないことから、町・JA・住民が密に連携をとりつつ、助成制度について検討し確立していく。

(3) 情報発信の強化

①安全でおいしい農産物、豊かな自然、志比内川といった地域の観光資源の情報発信を強化します。【修正後】

→(1)計画策定時から「菜の花」の文言を入れていたが、目標から削除したため、文言から削除した。

(4) 志比内川を地域のいきいの場として活かす

①志比内川環境整備を図ります

→継続していく。

■目標2 生活しやすい地区をつくる

(1)、(2)ともに継続していく。

2. 取り組みのあり方・協働に向けた意見・提言

■目標3 さくらプラザの活用

(1) 集いの場所の活用

- ①さくらプラザを地域住民が安心して利活用できる防犯対策、維持管理方法を検討します。

【修正後】

→現状として地域住民がサロンとして、いつでも使えるなど使い勝手のよい施設ではあるが、他地域から来た方の施設利用方法に問題がある。また、スケートボードで壁を損傷するなどの問題が発生しており、地域住民が安心して利活用できるよう防犯カメラの設置について住民で検討し町へ要望を行っている。

■目標4 学校との連携で内外に開かれた地区をつくる

- (1)、(2) とともに継続していく。

■目標5 組織の見直し

(1) 組織の見直し

- ①行政区と公民館が一体的に活動できる仕組みを構築します【削除】

→目標が達成されたため削除

※他にもたくさんの貴重なご意見をいただきましたが、一部割愛させていただきます。